



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 株式会社 サンゲツ

上場取引所 東名

コード番号 8130 URL <http://www.sangetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 安田 正介

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 助川 達夫

TEL 052-564-3333

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	115,537	17.2	4,565	12.2	5,120	11.7	3,356	27.8
29年3月期第3四半期	98,552	0.3	5,199	23.1	5,799	17.8	4,647	4.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 4,290百万円 (6.3%) 29年3月期第3四半期 4,578百万円 (2.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	50.97	50.90
29年3月期第3四半期	68.91	68.82

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	161,779	105,740	64.8
29年3月期	167,493	108,892	65.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 104,829百万円 29年3月期 108,805百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		25.00		27.50	52.50
30年3月期		27.50			
30年3月期(予想)				27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,000	15.0	6,100	19.4	6,800	18.7	4,500	31.5	67.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	67,000,000 株	29年3月期	68,070,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	2,291,477 株	29年3月期	1,032,697 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	65,844,015 株	29年3月期3Q	67,450,917 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、不確実な要素が含まれ変動する可能性を有しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期(平成29年4月1日～12月31日)のわが国経済は、堅調な企業収益や設備投資の増加、雇用環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調となりました。また海外経済では、欧米を中心とした雇用環境の改善による個人消費の回復や輸出の増加により、全体としては堅調に推移しました。

当社事業に関連の深い建設市場におきましては、非住宅市場における設備投資が緩やかに増加するなど、堅調に推移していますが、住宅市場では新設住宅着工戸数が7月から12月まで6カ月連続で前年を下回ったほか、建設業における技術労働者不足の顕在化など、市場環境は依然として予断を許さない状況です。

このような状況のもと、当社グループは昨年5月に発表した中期経営計画(2017-2019)「PLG 2019」に基づき、成長に向けた施策を着実に実行してまいりました。重点市場ごとに専任の営業部署を設置し、商品戦略と営業戦略の連携を強化したほか、地理的拡大に向けた事業戦略として、昨年度買収した米国のKoroseal Interior Products Holdings, Inc.に加え、12月にシンガポールのGoodrich Global Holdings Pte.Ltd.を買収し、東南アジア地域での基盤づくりを進めました。当第3四半期の連結業績は、Koroseal Interior Products Holdings, Inc.の連結開始により、売上高は115,537百万円(前年同期比17.2%増)と大幅に増加する一方、サンゲツ単体での成長投資を中心とした販管費の増加により、営業利益は4,565百万円(同12.2%減)、経常利益は5,120百万円(同11.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,356百万円(同27.8%減)となりました。

第1四半期より、報告セグメントを以下のとおり4区分に変更し、前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### (インテリア事業)

壁装事業では、好調を維持する宿泊・飲食施設など非住宅市場での不燃認定壁紙の採用が売上を牽引しました。また、昨年6月に発刊した粘着剤付化粧フィルム「リアテック」、「ガラスフィルム」の市場浸透に注力するなど、高付加価値商品の訴求に努めたほか、専任の営業部署と連携し、各地域のハウスメーカーや有力ビルダーへの営業活動を積極的に展開しました。その結果、壁装材の売上高は43,119百万円(前年同期比3.5%増)となりました。

床材事業では、堅調に推移する商業・医療福祉分野において、フロアタイルやメンテナンス性に優れた塩ビ系床材の売上が伸長しました。また、繊維系床材においては、昨年6月に発刊した「ロールカーペット」の市場浸透が進み、改装需要が旺盛な宿泊施設での採用を伸ばしました。その結果、床材の売上高は31,301百万円(同5.1%増)となりました。

ファブリック事業では、昨年7月に発刊した住宅向けカーテン見本帳「STRINGS」と「Simple Order」において、セミナー等の継続した販促活動が好評を得て、売上が伸長しました。また、非住宅向けのカーテン見本帳「コントラクトカーテン」も堅調に推移したほか、椅子生地においても、専任営業担当者による販売強化が奏功し、市場への浸透が進みました。その一方、見本帳の切り替えに伴う販売機会のロスが一部売上に影響しましたが、カーテンと椅子生地を合わせたファブリックの売上高は5,669百万円(同1.8%増)となりました。

これらのほか、施工体制を担うフェアトーン株式会社の業績、施工代などを含むその他の売上高8,883百万円(同16.9%増)を加え、インテリア事業における売上高は88,974百万円(同5.2%増)、営業利益は4,463百万円(同9.7%減)となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業を担う株式会社サングリーンにおいては、フェンスやカーポートが伸張したほか、後付けが可能なガーデンルームや宅配ボックス、住宅用エクステリア照明といった、便利で快適な暮らしに繋がる庭まわりの商品への需要も高まりました。また、営業活動においては、施工力強化とともに営業体制の再構築を進め、高付加価値商品の販路拡大に努めました。この結果、エクステリア事業における売上高は11,302百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益は358百万円(同17.4%増)となりました。

(照明器具事業)

照明器具事業を担う山田照明株式会社においては、「オフィス」・「ホテル」・「屋外/道路」・「Zライト」の重点戦略分野において、道路照明をはじめとする取り扱い商品の拡大や、サンゲツとのシナジー創出、LEDによる演色性の高いZライトの導入などを進めました。高品質を活かした特注商品やソリューション型の営業活動に特化することにより、総利益率は改善したものの、市場の競争は厳しさを増しており、売上高は2,596百万円(前年同期比13.7%減)、営業損失は123百万円(前年同期は営業損失41百万円)となりました。

(海外事業)

北米市場を担うKoroseal Interior Products Holdings, Inc.においては、粘着剤付化粧フィルム「リアテック」を中心に日本国内での既存商品の設計指定獲得が進み、北米における新たな商品分野の販路を拡大しました。中国市場を担う山月堂(上海)装飾有限公司においては、壁装材に加えて医療・商業関連施設等への床材の採用が進みました。この結果、海外事業における売上高は12,887百万円となりました。また、のれん償却前の営業利益は580百万円、のれん償却後の営業利益は203百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、前期末に比べて5,713百万円減少し、161,779百万円となりました。また純資産は、前期末に比べて3,152百万円減少して105,740百万円となり、自己資本比率は64.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月1日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,945	13,833
受取手形及び売掛金	40,186	37,758
電子記録債権	8,305	10,811
有価証券	1,800	2,007
商品及び製品	13,562	15,794
仕掛品	232	306
原材料及び貯蔵品	2,829	2,692
その他	3,186	2,673
貸倒引当金	△300	△538
流動資産合計	95,749	85,339
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,494	19,445
その他(純額)	15,608	16,559
有形固定資産合計	35,103	36,005
無形固定資産		
のれん	5,806	5,892
商標権	6,166	6,165
その他	7,304	7,096
無形固定資産合計	19,277	19,154
投資その他の資産		
投資有価証券	10,017	14,306
その他	7,535	7,139
貸倒引当金	△190	△165
投資その他の資産合計	17,362	21,280
固定資産合計	71,743	76,440
資産合計	167,493	161,779

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,741	14,065
電子記録債務	8,169	8,291
短期借入金	489	623
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	1,882	179
賞与引当金	1,385	693
役員賞与引当金	—	18
資産除去債務	267	491
その他	5,141	6,028
流動負債合計	32,578	30,891
固定負債		
長期借入金	12,719	12,300
役員退職慰労引当金	98	106
退職給付に係る負債	7,683	7,644
資産除去債務	410	413
長期未払金	256	126
その他	4,854	4,556
固定負債合計	26,022	25,147
負債合計	58,600	56,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,005	20,005
利益剰余金	77,177	74,783
自己株式	△2,023	△4,539
株主資本合計	108,775	103,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,000	3,163
繰延ヘッジ損益	30	27
為替換算調整勘定	△256	△714
退職給付に係る調整累計額	△1,745	△1,513
その他の包括利益累計額合計	29	964
新株予約権	87	84
非支配株主持分	—	825
純資産合計	108,892	105,740
負債純資産合計	167,493	161,779

( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

( 四半期連結損益計算書 )

( 第 3 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 ( 自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年12月31日 )	当第 3 四半期連結累計期間 ( 自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年12月31日 )
売上高	98,552	115,537
売上原価	69,237	79,962
売上総利益	29,315	35,574
販売費及び一般管理費	24,115	31,009
営業利益	5,199	4,565
営業外収益		
受取利息	10	20
受取配当金	129	150
不動産賃貸料	64	4
持分法による投資利益	266	324
その他	191	132
営業外収益合計	663	631
営業外費用		
支払利息	21	43
手形売却損	2	2
自己株式取得費用	9	9
資金調達費用	21	—
その他	9	20
営業外費用合計	63	76
経常利益	5,799	5,120
特別利益		
固定資産売却益	7	10
投資有価証券売却益	698	0
退職給付制度終了益	108	—
その他	0	0
特別利益合計	814	11
特別損失		
固定資産売却損	0	3
固定資産除却損	30	11
賃貸借契約損	67	—
その他	10	—
特別損失合計	109	14
税金等調整前四半期純利益	6,505	5,118
法人税、住民税及び事業税	1,829	1,797
法人税等調整額	28	△35
法人税等合計	1,857	1,762
四半期純利益	4,647	3,356
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,647	3,356



(四半期連結包括利益計算書)  
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	4,647	3,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△476	1,158
繰延ヘッジ損益	△8	△3
為替換算調整勘定	△31	△456
退職給付に係る調整額	438	229
持分法適用会社に対する持分相当額	10	5
その他の包括利益合計	△68	934
四半期包括利益	4,578	4,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,578	4,290

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	海外事業	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	84,576	10,995	2,976	4	—	98,552
セグメント間の内部 売上高又は振替高	23	—	33	—	△56	—
計	84,600	10,995	3,009	4	△56	98,552
セグメント利益又は 損失(△)	4,943	305	△41	△12	4	5,199

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	海外事業	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	88,750	11,302	2,596	12,887	—	115,537
セグメント間の内部 売上高又は振替高	224	—	—	—	△224	—
計	88,974	11,302	2,596	12,887	△224	115,537
セグメント利益又は 損失(△)	4,463	358	△123	203	△336	4,565

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「インテリア事業」、「エクステリア事業」及び「照明器具事業」の3区分から、「インテリア事業」、「エクステリア事業」、「照明器具事業」及び「海外事業」の4区分に変更しております。

これは、中期経営計画(2017-2019)「PLG 2019」の事業戦略において、海外を重点注力市場と位置付けて連結経営管理することとしたため、平成28年11月に買収したKoroseal Interior Products Holdings, Inc.及び平成28年4月に設立した山月堂(上海)装飾有限公司を「海外事業」セグメントとして区分したものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。